

## マスード・ビン・モメン駐日バングラデシュ大使からのメッセージ

2014年5月25日

閣下、

ご列席の皆様方、

まず初めに、主催者の方々がスワーム・ヴィヴェーカーナンダ生誕 150 周年記念式典閉会式を企画したことに対し感謝申し上げます。まさに今夜、首相閣下が東京に到着するため残念ながら参加をすることができません。

式典にお招きいただいた日本ヴェーダーンタ協会のスワーム・メーダサーナンダに感謝を表します。昨年ヴェーダーンタ協会を訪問し意見交換を行った際に、協会が日本各地でスワーム・ヴィヴェーカーナンダの普遍的なメッセージを広める活動を行っていることを知り、深く感銘を受けました。

スワーム・ヴィヴェーカーナンダの世俗主義と精神性のメッセージは時空を超越するものです。彼の貧困と後進性を理解するための努力は、様々な考えを解き放ち、多年にわたり我々に社会の根本的な問題に対処することを啓発してきました。世界各国で戦争、内乱、貧困や不正の災いと戦いが続きながらも、豊かさと近代化がもたらす難題にも直面しています。発展途上世界は、絶えず貧困、栄養不良、非識字や不平等と戦っています。その一方で、豊かで発展した近代社会はモラルや精神的なジレンマによって引き起こされる絶望感や不快感の問題を抱えています。しかし、この双対問題で興味深いのは、カースト、信念、宗教、社会的・経済的階層に拘らず、スワームの基本的な教えが我々全てにこれらの問題をよりよく理解する力を与えてくれるところです。それはまた、苦悩する心の暗闇を光へと導いてくれます。そのために、1893年の万国宗教議会において読み上げられたスワームの有名なスピーチは、今まで以上に今日的な意味を帯びています。

今日の世俗主義に基づくバングラデシュでは、多くのラーマクリシュナ・ミッションがスワームのメッセージを広める貴重な取り組みを行っており、社会の向上に多大な貢献をしています。スワームの教えと彼の私生活における実践が、我々の世代、未来の世代の内なる偏見を払拭し、相互尊重に基づいた、より開かれた思いやりのある社会を構築する助力になることを願っています。本日ご列席の皆さまが、共同責任と行動を引き受ける決意を持たれることを心より期待します。

ありがとうございました。

